

2025（令和7）年度 ホーム S K Y 地域連携推進会議 議事録

事業所名	共同生活援助事業 ホーム S K Y		
開催日時	2025（令和7）年12月11日（木）13：45～15：30		
開催場所	多摩市民館 5階学習室		
出席者	構成員	人数	備考
	入居者	1	
	入居者ご家族	1	
	地域関係者	1	登戸地区 民生委員児童委員協議会 会長
	福祉に知見を有する方	1	株式会社 アルトピアーノ 代表
	経営に知見を有する方	1	N P O 法人 ピアたちばな 理事
	区担当職員	-	多摩区役所障害者支援係（見学のみ参加予定）
	事業所職員	5	所長、主任、ユニット担当職員
	法人職員	1	ゆりあず職員
内容	1．出席者自己紹介 2．共同生活援助事業（グループホーム）とは？ 3．ホームSKYの特徴 1）定員 2）拠点、ユニット数 3）入居者状況 4）ホームSKYでの支援 5）職員体制 6）特徴 7）令和7年度の取り組み 4．経営状況報告 5．事故、ヒヤリハット、苦情等報告 6．各拠点報告 7．構成員近況報告		
質疑 意見交換	・ホームの待ち状況に関する質問 → 月1～2件の問い合わせあり、募集をすると応募を多数いただく ・サテライトが認められる条件についての意見交換 → 部屋の広さや拠点からの距離などいくつかの決まりがある → 近隣で空き部屋があった際、サテにどうか？と思い質問 → 入居者の方がホームを卒業される時の物件探して大変厳しい状況があり、いい情報を頂いた ・ホーム予算について、すべて他の建物を借りて運営している場合、大変厳しい予算であることがわかる。 市の職員の方などにも会議に参加してもらい、実情を知ってもらえるとよい		
構成員より 近況報告 情報交換	・若年性認知症の方の行き場がない事をきっかけに、ベーカリーカフェ（ぴあーのぴあーの）を始めた。 開所から半年たち、他の障害の方も含め6名の方が在籍されている。 ・地域で新しく介護施設やアルコール関連の居場所づくりを始められる方が多く、 相談を受ける機会が増えている。 ・民生委員としていろいろな研修に行くが、（障害分野の）グループホームの事をわかっている人は ほとんどいないのではないかなと思う。今日のような話を是非他の民生委員にも聞いてほしい。 ・地域の方に福祉の社会資源を知ってもらおう機会として「ふれあう訪問ミニバスツアー」を 行っている。今回は「ぴあーのぴあーの」さんにも訪問させていただく予定 ・家族がお世話になっている。家にいる頃は母親も含め大変だった。近隣との関係も大変だったが、 病気のことを伝えられるようになってから楽になった。家で家族が支えるのは難しく、 グループホームは必要。ホームが運営されていくためのお金も必要。		